

Yokohama Tire Philippines, Inc. (YTPI) CSRレポート

事業内容: タイヤ生産
敷地面積: 452,019m²
従業員数: 2,306人 (2014年12月)
所在地: IE 5, Clark Freeport Zone, Philippines
相談・苦情などの受付窓口:
 TEL: +63 (45) 599-3603 FAX: +63 (45) 599-3613
 メールアドレス: angelina.casasola@ytpi.com



社長ご挨拶



鈴木 忠

「小さな始まりは偉大なことにつながります」
 私たちは、業界で最高品質のタイヤを製造するために、天然ゴムを使用しています。このように自然資源を得て、操業を継続するために、千年の杜活動をはじめとする、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。
 私たちは、横浜ゴムグループの主要企業として、国際社会に貢献し、かつ信頼を得ることができるCSR戦略を構築しています。

それは、経済、教育、環境管理、安全衛生および社会開発など、これらの側面のすべてに焦点を当て、事業活動とバランスを取り、常に私たち一人一人に持続的に何ができるかを検討し、2014年度は50のCSR活動に取り組みました。

例えば、設備保全および環境管理グループは、廃棄物を削減する方法について、月例会議で統計情報をきめ細かく検証し、さらに研究を行っています。また、地域社会における生態リスク対応のために環境改善の

投資や緊急時の教育訓練を行っています。昨年9月には、雨水回収施設を稼働させ、継続的に毎月の水の消費量の削減を実現しました、これからも、ステークホルダーの皆さま（お客さま、地域社会とNGO、従業員、取引先や納入業者、請負業者およびサービスプロバイダー、学界とメディア）と、持続可能な社会の発展に率先して貢献することに取り組めます。私たちは、これらの小さな取り組みを続けることが、大きな成果、環境負荷の低減につながることに信じています。



組織統治

企業理念

高い品質のタイヤを製造することは私たちの最大の誇りです。私たちが生産したタイヤがお客様の厳しいニーズと高い基準を満たしていることに対して、誇りと達成感を持っています。我々は環境と地球の資源を保護し、維持するために、人材育成・能力開発を行い、最大限の効率性と生産性で工場を稼働することにより、すべてを達成することを目指しています。

Corporate Philosophy

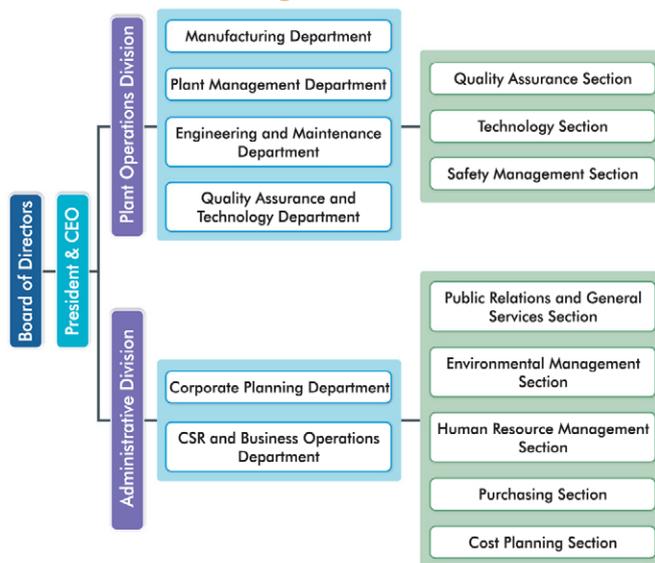
Producing quality tires is our greatest pride.

We are proud of our work and find satisfaction in seeing that the tires we produce meet our customers' exacting needs and high standards. We aim to accomplish all these at the same time that we work to preserve and to protect the environment and Earth's resources, develop the skills and potentials of our personnel, and employ our machines with maximum efficiency and productivity.

ビジョン

「人々が信頼できるタイヤ」を提供することにより、YTPIはフィリピンそして世界の中で、ベストカンパニーを目指します。

CSR Management Framework



安全・環境・品質などCSR課題に対応する体制を構築し、ステークホルダーとのコミュニケーションを推進しています。

「Kapihan sa Yokohama」は2年間のステークホルダーコミュニケーションのプログラムです。2011年から実施し、意見交換を行っています。



YTPIでは、長期的な社会コミュニケーションとCSRプログラムの開発のため、持続的な生活改善の施策について検討を行っています。



貧困世帯の減少に寄与するため、すべての家庭に就業の機会が得られるような意見を募っています。

2014年安全実績

従業員は、当社の最も重要な財産であり、人命の保護に努めています。この目的を達成するために、安全管理部門 (SMS) はトップマネジメント、安全コアチームと一緒に各種の活動を通じて重大事故 (Incident) ゼロ達成を目指しています。

2014年度は重大事故の発生はありませんでした。

安全な職場環境

安全管理部門 (SMS) が中心となり、事前のリスクアセスメントや以下の健康・安全管理システムの活動を通して、安全文化の構築を図っています。

<年間活動>



フォークリフト安全運転訓練



救命訓練



消火訓練

<月間活動>



トップ安全診断



製造装置の安全点検

<週間活動>



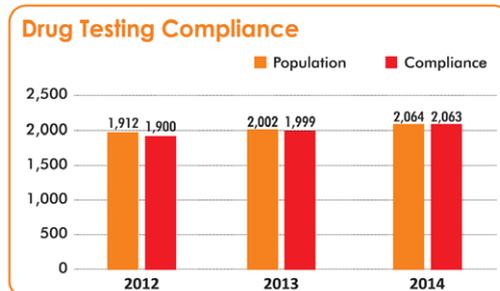
職場災害のフォローアップ



作業手順書の監査

禁止薬物の使用のない職場を目指して

2008年から禁止薬物の使用ゼロを目指して取り組んでいます。使用があった場合は、家族を含めカウンセリングを行い、必要に応じてリハビリセンターとも協力して、回復に努めています。



作業手順書などの電子化

リスクアセスメントや作業手順書の電子化を4月に終わりました。これによって、どの工程・作業に不安全があるのか容易に検出でき、安全管理のレベル向上に寄与するとともに、紙使用量は22,500枚の削減となりました。

体感訓練場の更新

工場拡張に伴い、さらに安全に働くことができるように、発生音や現象が見て分かる小型装置の整備を強化した体感訓練場が11月に完成しました。どのような危険とリスクがあるのかを理解して、作業者は正しい操作を習得し、設備保全担当者はどうすれば危険とリスクを回避できるのかを学ぶことができます。



工場入り口に設置されているセーフティゲート

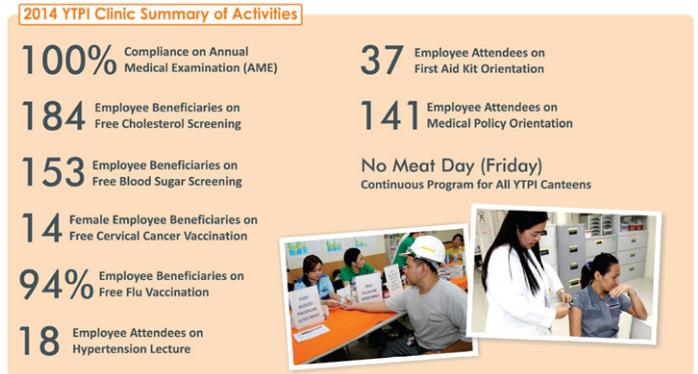
このセーフティゲートは従業員の安全意識を向上させるためのものです。この試験に合格した人は「安全ワーカー」として扱われます。基本的な安全規則と10の安全ワーカー規則があり、常に必ず守らねばなりません。



健康意識の向上

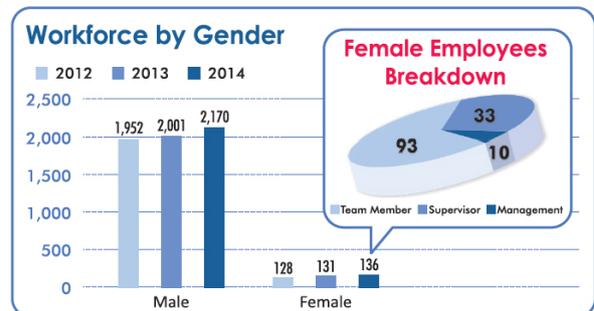
健康なライフスタイル推進を継続的に努めています。医療チームは心臓病のリスク低減と肥満の防止のため週に1回の「肉を食べない日 (Meet Free Day)」プログラムを紹介しています。また、食堂では肉の代わりにビタミンとミネラルの豊富な魚と野菜が提供され、その成果として、年間を通じてバランスの取れた食事が従業員に受け入れられてきました。

また、各種健康診断や相談、救急救命講習などを実施しています。



従業員構成

私たちは雇用の機会均等と従業員の多様性の促進に留意して採用活動を行っています。従業員2,306名の多くは生産現場、技術で働く男性(94%)で、女性(6%)はほとんどが総務、事務的な仕事を担当しています。管理職44名の中で、女性は10名(23%)です。



多くの従業員(98%)は第3地区(当社がある中部ルソン地区)の住民です。

YTPJのキャリア開発

チームメンバーからトップマネジメントまで人材育成の強化を推進してきました。これは従業員のキャリア開発に大きく貢献しており、働く場所における、知識、スキル、仕事に対する姿勢の最適化に資するもので、会社のビジョン、ミッションの達成を支えています。

以下のグラフは従業員のカテゴリー別の毎年の研修実績を示したものです。

<研修の受講者数>

Employee Position	No. of Employees by Position and Type of Training		
	Internal Training	External Training	Total per Position
Team Members/ Team Leaders	3,547	377	3,924
Supervisors / Senior Supervisors	101	343	444
Section Managers / Department Managers	0	118	118
Grand Total	3,648	838	4,486

これらの研修は、当社が認定したトレーナーが社内外で従業員に対して行う社内研修、外部の研修機関が社内外で実施する外部研修として位置づけています。

<研修時間>

Average Hour of Training per Employee by Position		Average Hours of Training per Employee by Position and Type of Training (Internal and External)		
Employee Position	Training Hours	Employee Position	Training Hours per Employee	
	Employee		Internal Training	External Training
Team Members / Team Leaders	44	Team Members / Team Leaders	12	32
Supervisors / Senior Supervisors	39	Supervisors / Senior Supervisors	13	26
Section Managers / Department Managers	22	Section Managers / Department Managers	0	22

機能研修は、特定のプロセスにおける専門分野の技術スキル、知識や技能などの機能領域の学習を中心に行っています。行動研修は身体を使って、能力、態度、習慣、性格特性、個人の属性、ソフトスキルの体験学習型の研修です。

<研修種別の時間>

Employee Position	Average Hours of Training per Employee by Position and Classification of Training		
	Training Hours/Employee/Year		
	Functional	Behavioral	Organizational
Team Members / Team Leaders	14	6	24
Supervisors / Senior Supervisors	14	6	19
Section Managers / Department Managers	14	0	8

環境方針

「地球温暖化の防止と天然資源の保全に貢献します」

この環境方針の実現のため、当社は高品質のタイヤを生産するときのエネルギーやその他資源を適正に管理・使用を行っています。

YUPIの環境負荷の全体像を以下に示します。

環境データ

項目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
廃棄物発生量 (t)	2,185	1,991	1,167	1,594	2,871	
埋立率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	9,966	11,159	12,017	10,502	16,799
	燃料	15,724	14,333	12,170	11,632	15,217
	合計	25,690	25,492	24,187	22,134	32,016
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	63.8	62.7	58.9	54.1	77.7	
水使用量 (千m ³)	453	459	424	377	514	

※年度: 1月~12月
 ※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

エネルギー効率の向上

さまざまな取り組みによって、エネルギー使用量を削減し、環境保全に寄与しています。

INPUT

Energy Consumption

Electricity

East 57,788,149 kWh
West 30,549,493 kWh

Fuel (Boiler)

East 6,898,767 L
West 2,912,243 L

Fresh Water

East 353,032 m³
West 161,140 m³

Raw Material Consumption

Rubber

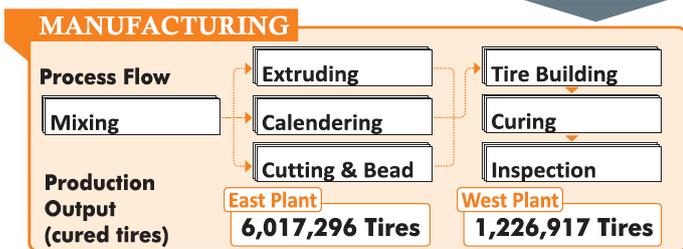
East 21,977,604 kg
West 12,675,701 kg

Chemical

East 19,079,062 kg
West 10,993,122 kg

Textile and Metal

East 11,574,751 kg
West 876,956 kg



OUTPUT

Carbon dioxide emission

East 39,687.41 tons
West 18,733.56 tons

Boiler Air Emission Quality

Parameters	Gov't Std.	Yr. 2014
SO _x	1,500	31.27
PM	150	13.20
CO	500	8.57
NO _x	1,500	-

Emission to Air

Ambient Air Quality		Generator Air Emission Quality			
Parameters	Gov't Std.	Yr. 2014	Parameters	Gov't Std.	Yr. 2014
SO _x	70	59.69 dB	SO _x	700	-
NO _x	260	20.00 ug/NCM	PM ¹	150	-
PM10	200	73.46 ug/NCM	CO	500	7.95
SO2	340	42.59 ug/NCM	NO _x	2,000	355.73
Ozone	140	1.00 ug/NCM	* No longer monitored as ordered by DENR-EMB Region III due to good performance in the past years		
H2S	100	ND ug/NCM	* in mg/NCM		
NH3	200	20.24 ug/ncm			
CO	30	1.09 ppm			
TVOC	n/a	Non Detected			

Waste Generation

Total East and West: 3,025.37 tons

Reusable	115.94
Recyclable	2,733.1
Non-Recyclable/Residual	14.27
Hazardous	162.06

Waste Water Discharge

Water Quality Parameters

Parameters	CDC Std.	Yr. 2014
pH	6.5-9	7.31
Color	150	27.50 PCU
BOD	200	23.77 mg/L
COD	400	103.4 mg/L
TSS	200	33.65 mg/L
Oil & Grease	5	1.59 mg/L

<p>Activity: Inverter Installation</p> <p>Estimated Annual Savings: 80,246.71 kWh</p>	<p>Activity: Provision of Insulation/ Steam Pipe Insulation</p> <p>Estimated Annual Savings: 6,425.91L</p>
<p>Activity: Conversion of Fluorescent Lamps into LED</p> <p>Estimated Annual Savings: 325,666.8 kwh</p>	<p>Activity: Steam Trap Replacements</p> <p>Estimated Annual Savings: 9,299.23L</p>
<p>Activity: Conversion of high pressure air to N2 gas at THX m/c pressurization</p> <p>Estimated Annual Savings: 5,893.62 kWh</p>	<p>Activity: Installation of Drip Legs on Curing existing</p> <p>Estimated Annual Savings: 156,792.19L</p>

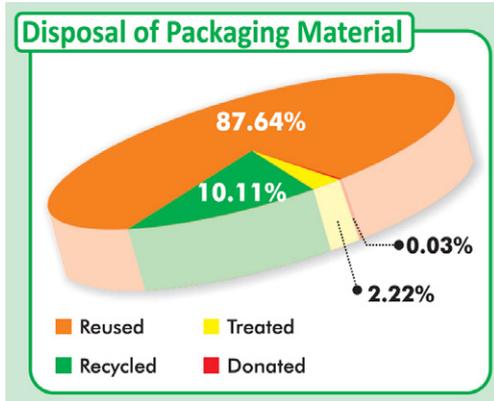
水

YUPIでは、500,000m³/年の水使用量があり、その70%が冷却用途です。2011年には循環するようにして、約30%削減しました。その後、雨水利用の検討を始め、中和処理とろ過を行うことで利用が可能であることを確認しました。2013年から試行した結果を受けて、2014年7月に容量20m³、10月に容量1,000m³の雨水利用タンクを設置、運用しました。2014年度は15,000m³の削減となり、年間40,000m³の削減を見込んでいます。



廃棄物管理

2014年度の廃棄物発生量は、31.39%の増加となりましたが、ゼロエミッションは継続しています。さらに、原材料の梱包材の管理にも着手し、再使用または再利用を行う割合が増えました。



省エネ月間、環境月間

5月に省エネ月間、6月に環境月間の活動を行いました。テーマは「省エネルギー：低炭素社会と持続可能な地球に向けての活動」です。ポスターやスローガンなどのコンテストを実施しました。



また、清掃活動、グリーンカーテンづくり、そして、苗の提供や第7回の千年の杜植樹会を開催しました。



河川清掃



苗の寄付



グリーンカーテン

<第7回 千年の杜植樹会>

11月8日に1,266m²のマウンドに、3,840本の植樹を行いました。従業員と家族、ヨコハマタイヤセールスフィリピン (YTSP) のメンバー、学校、行政の方々、総勢503名の参加を得ました。



YTPIでは、これまでに32,114本の植樹を行い、45,593本の育苗を進めてきました。これは、4.8tのCO₂を固定化したこととなります。



公正な事業慣行

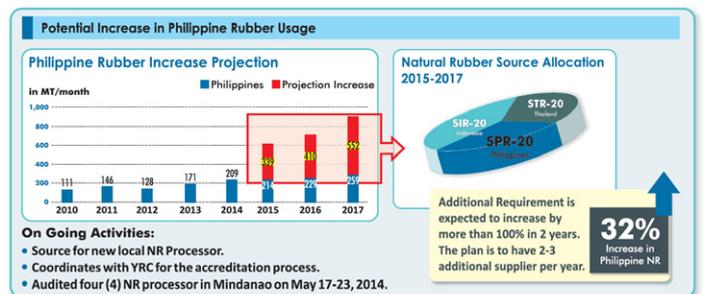
国内産業力の強化プロジェクト

日本国際協力機構 (JICA) と貿易産業局 (DTI) が協力して、フィリピン国内の特に中小規模の産業力を強化するプロジェクトが進められています。

YTPIは、天然ゴム原料の現地調達への推進に参画しています。2014年5~6月に天然ゴム生産者や加工者を招き、性能や製造に対する要求について意見交換を行いました。



今後、天然ゴムの生産者と加工者と連携を取り、フィリピン産の天然ゴムの採用を進めていきます。



顧客満足向上の活動

私たちは最高のタイヤだけを提供することが最終目標です。市場からの要求は多岐にかつ複雑であるため、品質、技術、製造、その他の計8部門のメンバーでチームを構成し、課題解決の活動を行っています。



検査室の向上

タイヤ品質の最終確認のため、8時間交替で検査を行っています。2014年には効率的に、安全に、かつ見落とすことがない検査室に改善し、高品質のタイヤを供給しています。

2014 Inspection Booth



Y2014 DB Booth underwent further renovation with new features which include touch panel with scanner, automatic scanning, metal detector and inspector's folding chair.

お客様の監査

お客さまとの良好な信頼関係の構築のため、私たちの操業状態を直接見ていただき、ご意見・要望をいただいています。2014年2月にディスカウントタイヤさま、クライスラーさま、7月にフォルクスワーゲンさま、12月に三菱自動車さまの監査を受け、良い評価をいただきました。



表彰

環境への取り組み、輸出や輸入への貢献に対する表彰を受けました。

Growing Achievements



奨学金プログラム

ヨコハマタイヤ販売店とも協働して、2大学19名の学生に奨学金プログラムを実施しています。



工場見学

YTPIの企業文化や企業価値を伝えることを通して、国内の学生の技術教育の向上やYTPIの取り組みを理解を目指しています。2014年度は1,110名(大学生909名、その他271名)を受け入れました。





職業訓練

学校とは異なる環境の下、技能習得だけでなく、どのような職業を選択するか、卒業までの準備について考える機会として職業訓練を行っています。



医療ミッション

地域において基本的な健康管理が行えるよう、YTPIが保有している医療設備を使って、2地区で6月20日、11月29日に、計448名の健康診断を行いました。



給食プログラム

栄養不足の児童に対して健康を促進し、よい学習環境を作るために、今年は、San Joaquin小学校で実施しました。毎週月曜から金曜までの60日間、55名に対して行い、何らかの問題がありましたが、実施後は、99%が改善されて、正常な体重になりました。



On-the-Job Training

2013

2014

Total number of students	85	50
Total training hours	28,528	17,114
Average hours	336	342

トイレ建設

安心して学ぶためには、トイレ・給水施設の整備が欠かせません。子どもたちには、衛生教育を正しく学ぶ権利があり、実施することで将来の生活環境の向上につながります。YTPIは2012年度からトイレや給水施設の建設に協力してきました。2014年12月に着工し、2015年2月に完成したトイレは約300名の高校生が利用しています。



トイレができるまで